

1. はじめに

今年度の渡島体育研究会は、令和5年度の活動から見えた成果と課題に基づき、昨年度新しく立ち上げた研究主題（4年計画）のもと、「実践する」をキーワードとして検証を進めているところです。令和8年度に予定されている『北海道学校体育研究大会渡島大会』に向け、渡島体育の提案の軸となる「ともに学びをつくる」の内容について議論を交わし、より多くの子供達が「楽しさ・喜びを実感し、追究する」ことのできる授業のあり方を模索し、挑戦を続けています。

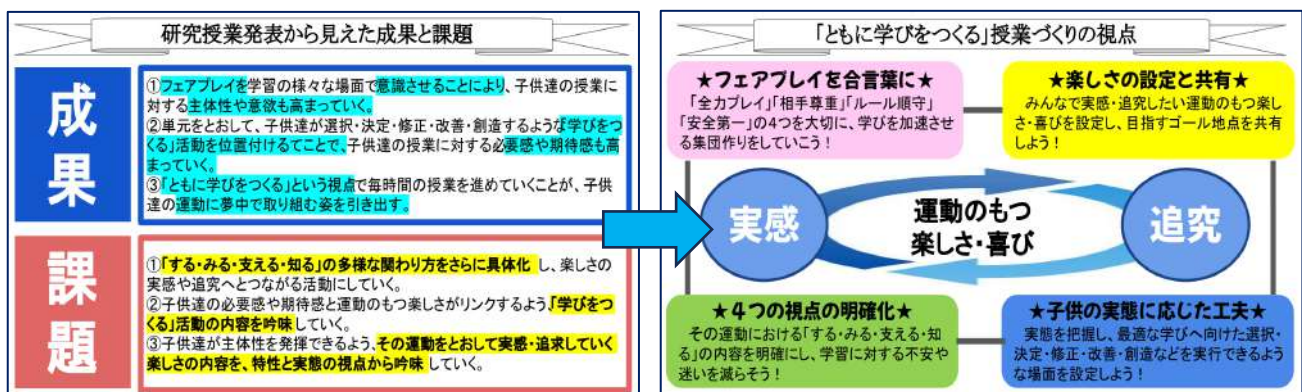
2. 渡島支部の研究内容について

【渡島体育研究会研究主題】

『豊かなスポーツライフの実現をめざした「ともに学びをつくる」体育学習の創造』
～楽しさ・喜びを実感し、追究する子供の育成～

(※昨年度の検証の結果から、「創造」の文言の追加と、「おもしろさ」の文言の削除を行いました。)

【令和5年度の活動から見えた成果と課題】



3. 主な活動報告

夏休みに、渡島の先生方を対象に、「リズムトレーニングで体育授業力アップ！」というテーマで実技研修会を開催しました。今年度は、渡体研の会員である小林先生が講師となり、リズム感を高めることで運動パフォーマンスを向上させることができるというリズムトレーニングの考え方が紹介されました。運動を「リズム」と「型」として捉える視点や、ボール運動や器械運動、からだづくり運動などにリズムを活用する方法など、取組の中には、子供達が楽しみながら自然と動きを獲得できるような手立てがたくさん散りばめられており、参加された先生方からとても良い評価をいただきました。今後は、1月に実施される第20回渡島体育研究集会に向け、研究主題のさらなる具体化、研究発表授業の準備、実技研修の準備など、各部でさらなる準備を進めていきます。

【実技研修会の様子】

